

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	国語	科目名	学校必履修	現代文B	単位数	2	担当者名
教科書	高等学校 改訂版 標準現代文B(第一学習社)							
副教材	常用漢字の1・2トライ(浜島書店) 新訂国語図説五訂版(京都書房)							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	わたしはあなただったかもしれない 大脇三千代	○言葉を正しく迎って、筆者の考え方を正しく受け止めることができる。 ○受け止めた筆者の考え方を正しく理解することができる。	定期試験の結果、提出課題の内容、授業中の発言により、それぞれの理解度、到達度を測り、総合的に評価する。	24
	5	「調律師のるみ子さん」 いしいしんじ	○登場人物の行動を押さえ、事のつながりや心情をとらえることができる。○登場人物の生き方を自分に置き換え、考えることができる。		
	6	「新しい地球観」 毛利衛	○言葉を正しく迎って、筆者の考え方を正しく受け止めることができる。○受け止めた筆者の考え方を正しく理解することができる。		
	7	「マジ？」 高山宗東	○言葉を正しく迎って、筆者の考え方を正しく受け止めることができる。○受け止めた筆者の考え方を正しく理解することができる。		
2 学期	9	短歌と俳句	○言葉を正しく迎り、表現されたものを正しく受け止めることができる。○表現されたものを正しく味わうことができる。○形式に則り、自己表現を工夫できる。	定期試験の結果、提出課題の内容、授業中の発言により、それぞれの理解度、到達度を測り、総合的に評価する。	28
	10	小説「こころ」夏目漱石	○ 事実経過の的確につかませる。 ○ 人物の置かれた状況をしっかり把握させる。 ○ 心情の推移を丁寧に追わせる。		
	11	「情けは人の……………」 俵 万知	○ 論旨を正しくつかませる。 ○ 自らの経験と照らし合わせて、自らの実生活とつなげて問題を考えさせる。 ○ 取り上げられた問題についての自分の意見を持たせる。		
	12	詩を味わう	○言葉を正しく迎り、表現されたものを正しく受け止めることができる。 ○表現されたものを正しく味わうことができる。 ○形式に則り、自己表現を工夫できる。		
3 学期	1	「ナイン」井上ひさし	○ 文章表現を味わい、楽しませる。	定期試験の結果、提出課題の内容、授業中の発言により、それぞれの理解度、到達度を測り、総合的に評価する。	18
	2	「コミュニケーションの文化」 平田オリザ	○ 論旨を正しくつかませる。 ○ 自らの経験と照らし合わせて、自らの実生活とつなげて問題を考えさせる。 ○ 取り上げられた問題についての自分の意見を持たせる。		
	3				

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	国語	科目名	古典A 必修選択	単位数	2	担当者名
教科書	高等学校 改訂版 標準 古典A 物語選(第一学習社)						
副教材	読んで見て覚える重要古文単語315三訂版(桐原書店) 新訂 国語図説 五訂版(京都書房)						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	説話 「古本説話集」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 古典文法の基本をしっかりと習得させる。 ○ 文章の記述をきちんと辿って、書き表されている事柄の推移を丁寧に追わせる。 ○ 書き表されていることの意味合いを考えさせる。 	定期試験の結果、提出課題の内容、授業中の発言により、それぞれの理解度、到達度を測り、総合的に評価する。	24
	5	「十訓抄」			
	6	「古今著聞集」			
	7				
2 学期	9	物語 「伊勢物語」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 古典文法の理解を文章読解につなげていく。 ○ 文章の記述をしっかりと踏まえて、書き表されている事柄を正しく把握させる。 ○ 登場人物の心情を感じ取らせる。 	定期試験の結果、提出課題の内容、授業中の発言により、それぞれの理解度、到達度を測り、総合的に評価する。	28
	10				
	11	「大和物語」			
	12	「宇津保物語」			
3 学期	1	随筆 「徒然草」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 古典文法を正しく理解し、文章読解に役立たせていく。 ○ 文章の記述を正しく理解し、書き表されていることの意味合いをより深く考えさせる。 ○ 筆者の主張をしっかりと受け止め、古典文化についての理解を深めさせる。 	定期試験の結果、提出課題の内容、授業中の発言により、それぞれの理解度、到達度を測り、総合的に評価する。	18
	2	「方丈記」			
	3	「枕草子」			

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	地理歴史科	科目名	世界史B 必修選択	単位数	4	担当者名
教科書	世界史B新訂版(実教出版)						
副教材	ダイアログ世界史図表(第一学習社)						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学 期	4	人類の誕生	ヒトがどのようにして誕生し、どのようにして文明が生んだのかを理解する。	授業への取り組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	48
	4	古代オリエント	現代の文字や言語、宗教の起源がどのようにして生まれたのかを理解する。	授業への取り組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
	5	古代ギリシア	民主政やオリンピックなど現代にも受け継がれているものがどのようにして生まれたのか、なぜ生まれたのかを理解する。	授業への取り組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
	5	古代ローマ	共和政の確立について、地理的にギリシアと近いことを意識し、ギリシアとの比較をしながら考え理解する。地中海を中心とする世界帝国となったローマが、なぜ広大な領域を維持できたのかを考える。	授業への取り組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
	6・7	中国文明の形成 胡漢融合帝国の誕生	黄河流域・長江流域で中国文明が形成されたことを知る。諸子百家の思想について理解する。中央ユーラシア世界に興亡する遊牧民族国家やシルクロード・ステップロードについて知る。 3～6世紀の魏晋南北朝時代について知る。 秦が中国を初めて統一したことを知る。	授業への取り組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
	9	イスラーム帝国の成立 各地のイスラーム国家(1)	イスラーム教の特色について理解する。 ウマイヤ朝・アッバース朝の時代にイスラーム教が拡大することを知る。 イスラーム国家は分裂するが、イスラーム教はアフリカ、中央アジアからインドへと拡大していくことを知る。	授業への取り組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
10	各地のイスラーム国家(2)	イスラーム国家が分裂を繰り返す中、トルコ系民族はイスラームの拡大に貢献し、インドやアフリカのイスラーム化にも貢献したことを理解する。	授業への取り組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など		
10	ラテン＝カトリック圏の形成と展開	聖像禁止令をきっかけに形成されたラテン＝カトリック圏を、ゲルマン人の大移動の中から台頭したフランク王国がまとめ上げたことを理解する。 ヴァイキングの活動がこの時期に活発化し、フランスやシチリア島にまで移動していたことを理解する。	授業への取り組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など		

2 学 期	10 ・ 11	古代インド	世界三大宗教の一つである仏教、またインドの一大宗教であるヒンドゥー教の特徴と起源について理解する。古代インドの統一王朝について理解する。	授業への取り組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	56
	11	ビザンツ帝国とギリシア正教圏	ビザンツ帝国は1千年にわたり皇帝専制支配体制を維持し続けたことを理解する。首都コンスタンティノープルは地中海商業圏の拠点として繁栄し、帝国を中心に東ヨーロッパにギリシア正教圏が形成されたことを理解する。	授業への取り組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
	11	ラテン＝カトリック圏の拡大	フランク王国分裂後、外敵の侵入が続く中で封建社会が成立したことを理解する。11世紀に農業生産力の向上や人口増加にともない商業が活発化し都市も発展したことを理解する。教皇権の高まりを背景に十字軍やレコンキスタ、東方植民などのラテン＝カトリック圏は外部へ拡大したことを理解する。	授業への取り組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
	12	ラテン＝カトリック圏の動揺と秩序の変容	黒死病の流行が封建制の崩壊をうながしたことを理解する。教皇の権威が衰退し、イングランドやフランスなどでは王権が伸長し、神聖ローマ帝国では領邦や都市を統合する帝国支配体制が確立したことを理解する。	授業への取り組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
3 学 期	1	中央ユーラシア諸民族と東アジア世界の変容	五代十国の頃から、独自の文化をもつ遼・西夏などのホップ民族が台頭したことを理解する。中国を統一した宋では朱子学や庶民文化が栄えたが、12世紀に金が侵入を受け宋は江南に移ったことを理解する。	授業への取り組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	36
	1	モンゴル帝国の成立	チンギス＝ハンが建てた大モンゴル国は、ハンの死後、ユーラシア大陸の東西にまたがる帝国へと拡大したことを理解する。帝国内の交通網は整備され、人やモノが行き交い東西交流も活発化したことを理解する。第5代のフビライは元をたて中国支配を強めただけでなく、周辺の国々や海外へも進出を図ったことを理解する。	授業への取り組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
	2	ヨーロッパの海外進出	インド航路をひらいたポルトガルは香薬交易で栄え、スペインはアメリカに至ったことを理解する。現地の高度な文明を滅ぼしたスペインは、大量の銀を世界に供給し、黒人奴隷を用いた大農園を展開したことを理解する。	授業への取り組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	
	2	大交易時代と海域アジア	アフリカとアジアを結ぶ海の道は、9世紀頃から交易ネットワークが栄えた第1次大交易時代となることを理解する。明の朝貢貿易は東アジアからインドに広まり、第2次大交易時代が幕を開けたことを理解する。	授業への取り組み状況 小テストの点数 定期考査の点数など	

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	地理歴史科	科目名	必修 日本史B	単位数	3	担当者名
教科書	改訂版 高校日本史B(山川出版社)						
副教材	図説 日本史通覧(帝国書院)						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	近現代を学習する前に～原始～	旧石器～弥生時代までの概要を理解する。	授業への取り組み状況 定期考査の点数など	36
	4	近現代を学習する前に～古代～	古墳～平安時代までの概要を理解する。		
	4	近現代を学習する前に～中世～	鎌倉～室町時代までの概要を理解する。		
	5	近現代を学習する前に～近世～	安土桃山～江戸時代までの概要を理解する。		
	5・6	開国と幕府の滅亡	<ul style="list-style-type: none"> ・18世紀末以降における、外国船の日本接近の背景と日本開国の過程について理解する。 ・開国が日本に与えた影響について理解する。 ・尊王攘夷運動から倒幕運動へと転換した過程について理解する。 		
	6	明治維新	<ul style="list-style-type: none"> ・新政府発足の過程と、その仕組みについて理解する。 ・政府の数々の改革の背景と影響について理解する。 ・明治初期の対外関係について理解する。 		
	7	立憲国家の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法制定の過程について理解する。 ・大日本帝国憲法と日本国憲法の内容を比較し、その特色についてそれぞれ理解する。 		
2 学期	9	大陸政策の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・条約改正の過程について理解する。 ・日清戦争・日露戦争の過程・影響について理解する。 	授業への取り組み状況 定期考査の点数など	42
	9	近代産業の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命の過程と、日本に与えた影響について考察する。 		
	10	第一次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の過程と、日本に与えた影響について理解する。 ・戦後の世界秩序の変化について理解する。 		
	10	政党政治と大衆文化	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の日本経済について理解する。 ・第二次護憲運動の過程を理解する。 		
	11	恐慌の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・金融恐慌の過程について理解する。 ・昭和恐慌の過程について理解する。 		

	11 ・ 12	軍部の台頭	<ul style="list-style-type: none"> ・満州事変の過程について理解する。 ・政党内閣崩壊の過程について理解する。 ・二・二六事件の過程について理解する。 		
3 学 期	1	第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・日中戦争の過程について理解する。 ・第二次世界大戦の過程について理解する。 ・戦争が国民生活に与えた影響について理解する。 ・日本の敗戦までの過程を理解する。 	授業への取り組み状況 定期考査の点数など	27
	2	占領下の改革と主権の回復	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の世界秩序の変化について理解する。 ・五大改革指令の内容と、それによる国民生活の変化について理解する。 ・冷戦の過程について理解する。 		
	3	55年体制と高度経済成長	<ul style="list-style-type: none"> ・55年体制成立の過程について理解する。 ・独立後、日本が各国と結んだ条約の内容について理解する。 ・高度経済成長の過程と、それによる国民生活の変化について理解する。 		

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	数学	科目名	学校必履修	数学Ⅱ	単位数	4	担当者名
教科書	高等学校数学Ⅱ(数研出版)							
副教材	基本と演習テーマ数学Ⅱ+B							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定
1 学期	4	第1章 式と証明 第1節 式と計算 (1) 3次式の展開と因数分解 (2) 二項定理 (3) 整式の割り算	3次式の展開公式を用いて計算することができる 3次式の因数分解の公式を用いて計算することができる 整式を整式で割り算し、商と余りを求めることができる	知識・技能・関心・意	48
	5	(4) 分数式とその計算 (5) 恒等式 第2節 等式・不等式の証明 (6) 等式の証明 (7) 不等式の証明	分数式の計算をすることができる 恒等式の性質を理解することができる 等式が成り立つことを証明することができる 不等式が成り立つことを証明することができる	知識・技能・関心・意	
	6	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 (1) 複素数その計算 (2) 2次方程式の解 (3) 解と係数の関係	複素数の概念を理解し、複素数の計算をすることができる 解の公式を用いて、2次方程式を解くことができる 解と係数の関係を理解することができる	知識・技能・関心・意	
	7	第2節 高次方程式 (4) 剰余の定理と因数分解 (5) 高次方程式	剰余の定理を理解することができる 高次方程式を解くことができる	知識・技能・関心・意	
2 学期	9	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 (1) 直線上の点 (2) 平面上の点 (3) 直線の方程式 (4) 2直線の関係 第2節 円 (5) 円の方程式 (6) 円と直線 (7) 2つの円 第3節 軌跡と領域 (8) 軌跡と方程式 (9) 不等式の表す領域	直線上での内分点・外分点を求めることができる 平面上での2点間距離、内分点・外分点を求めることができる 直線の方程式を求めることができる 2直線の平行・垂直の条件を理解することができる 円の方程式を求めることができる 円と直線の位置関係を理解することができる 2つの円の位置関係を理解することができる 座標平面上の点の軌跡を求めることができる 該当する領域を図示することができる	知識・技能・関心・意	56
	10	第4章 三角関数 第1節 三角関数 (1) 角の拡張 (2) 三角関数 (3) 三角関数のグラフ (4) 三角関数の性質 (5) 三角関数の応用	角の範囲を一般角まで拡張して考えることができる 三角関数の値を求めることができる グラフの周期・振幅・対称性等の性質を理解することができる 相互関係の公式を用いて、三角関数の値を求めることができる	知識・技能・関心・意	
	11	第2節 加法定理 (6) 加法定理 (7) 加法定理の応用 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 (1) 指数の拡張 (2) 指数関数	加法定理を理解することができる 2倍角や反核の公式を理解することができる 指数法則を理解することができる 指数関数のグラフを描き、その性質を理解することができる	知識・技能・関心・意	
	12	第2節 対数関数 (3) 対数とその性質 (4) 対数関数 (5) 常用対数	指数と対数の関係を理解し、性質を理解することができる 対数関数のグラフを描き、その性質を理解することができる 常用対数表を用いて、桁数などを求めることができる	知識・技能・関心・意	
3 学期	1	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 (1) 微分係数 (2) 導関数とその計算 (3) 接線の方程式	平均変化率や極限值、平均変化率を求めることができる 公式を用いて関数の導関数を求めることができる グラフ上の点を通る接線を求めることができる	知識・技能・関心・意	36
	2	第2節 関数の値の変化 (4) 関数の増減と極大・極小 (5) 関数の増減・グラフの応用 第3節 積分法 (6) 不定積分 (7) 定積分 (8) 定積分と面積	増減表を描き、グラフの増減を調べることができる グラフから関数の最大値・最小値を求めることができる 不定積分を求めることができる 定積分を求めることができる 定積分の図形的な意味を理解することができる	知識・技能・関心・意	
	3	1年間のまとめ			

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	数学	科目名	数学B 必修選択	単位数	2	担当者名
教科書	改訂版 高等学校 数学B (数研出版)						
副教材	改訂版 教科書傍用 基本と演習 テーマ数学Ⅱ+B(数研出版)						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学 期	4	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 (1)ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの概念を理解する。 ・ベクトルの和、差、逆ベクトル、零ベクトルについて理解する。 ・ベクトルの加法、減法、実数倍の計算を理解できる。 ・成分表示されたベクトルの大きさ、和、差、実数倍の計算をする。 ・座標平面上の点とベクトルの成分の関係について理解する。 ・図形の性質をベクトルで表現して扱う。 ・内積の持つ図形的な意味を探ろうとする。 ・成分表示されたベクトルの内積を求めることができる。 ・線分の内分点、外分点を位置ベクトルで表す公式を理解して利用できるようにする。 ・図形に関する位置ベクトルを定めて、図形を考察する。 ・ベクトルの分解の一意性を理解して計算に利用することができる。 ・線分の長さ、垂直条件をベクトルの内積で表現して考察する。 ・直線のベクトル方程式を理解して媒介変数処理ができるようにする。 ・直線上の点を位置ベクトルで考察し、直線、円の方程式と関連付ける。 	ノート プリント 小テスト パフォーマンス課題 定期考査	24
	5	(2)ベクトルの演算 (3)ベクトルの成分			
	6	(4)ベクトルの内積 第2節 ベクトルと平面図形 (5)位置ベクトル			
	7	(6)ベクトルの図形への応用 (7)図形のベクトルによる表示			
	9	第2章 空間のベクトル (1)空間の点			
	10	(2)空間のベクトル (3)空間の成分 (4)空間の内積 (5)ベクトルの図形への応用 (6)座標空間における図形			
	11	第3章 数列 第1節 等差数列と等比数列 (1)数列と一般項			
12	(2)等差数列 (3)等差数列の和	<ul style="list-style-type: none"> ・空間における図形を、図や座標を利用して示す。 ・空間のベクトルを平面上のベクトルの拡張として捉えられるようにする。 ・空間のベクトルの成分を座標空間と関連付けて考察する。 ・成分表示されたベクトルの大きさ、和、差、実数倍の計算をする。 ・ベクトルの内積を平面から空間へ拡張して考察できる。 ・成分表示されたベクトルの内積を求めることができる。 ・3点が定める平面上の点の位置ベクトルを一般的に考察し、その結果を利用しようとする。 	ノート プリント 小テスト パフォーマンス課題 定期考査	28	

2 学 期			<ul style="list-style-type: none"> ・2点間の距離の公式を理解できる。 ・空間ベクトルを利用して、線分の長さ、分点の座標などを考察する。 ・球面の方程式に興味を持ち、一般的な考察をする。 ・球面の方程式から中心、半径を読み取る。 ・数列の定義、表記について理解できる。 ・数の並び方から、その規則性を推定して、数列の一般項を考察する。 ・等差数列の公差、一般項などを理解できる。 ・等差中項の性質に興味を持ち、問題解決に取り組もうとする。 ・等差数列の和の公式を適切に利用でき、和、差の最大値を求めることができる。 ・自然数の和、奇数の和、倍数の和などを求めることができる。 		
3 学 期	1 2 3	(4) 等比数列 (5) 等比数列の和 第2節 いろいろな数列 (6) 和の記号 Σ (7) 階差数列 (8) いろいろな数列の和 (9) 漸化式 (10) 数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> ・等比数列の隣接項の関係を考察し、公比、一般項などを理解できる。 ・等比中項の性質に興味を持ち、問題解決に取り組もうとしている。 ・等比数列の和の公式を適切に用いて数列の和を求めることができる。 ・等比数列の和から数列の一般項を求めることができる。 ・身近な数である自然数の平方や立方の和の公式を求めることができる。 ・記号 Σ の意味と性質を理解し、数列の和を求めることができる。 ・階差数列を利用して、もとの数列の一般項を求めることができる。 ・数列の和と第n項の関係を理解し、数列の一般項を求めることができる。 ・漸化式の意味を理解し、具体的に項を求めることができる。 ・数学的帰納法を利用して、様々な事柄を証明できることに興味を持つ。 	ノート プリント 小テスト パフォーマンス課題 定期考査	18

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	理科	科目名	必修 物理基礎	単位数	2	担当者名
教科書		高等学校 新編 物理基礎(東京書籍)					
副教材		レポート&チャージ物理基礎ドリル(実教出版)					

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	1編 物体の運動とエネルギー 1章 直線運動の世界 1. 速さ 2. 速度 3. 等速直線運動 4. 合成速度と相対速度	(1) 変位・速度の関係について、科学的に理解する意欲をもって学習に取り組む。 (2) 物体の運動を表す変位や速度を、その公式からとらえ表現でき理解できる。 (3) 速度の合成や、相対速度を判断し理解できる。 (4) 等速直線運動のx-t図とv-t図を表現できる。	関心・意欲・態度：授業態度、発問、ノート・ワーク提出 思考・判断・表現：発問評価、定期考査 技能：実験態度、レポート 知識・理解：小テスト、定期考査	24
	5	5. 加速度 6. 等加速度直線運動① 7. 等加速度直線運動②	(1) 加速度に関心を持つ。 (2) 等加速度直線運動のある時刻における速度と位置についての公式を判断し、理解できる。 (3) 等加速直線運動のx-t図とv-t図を表現できる。		
	6	8. 自由落下 9. 鉛直投射 10. 放物運動	(1) 自由落下に関心を持ち、物体の落下距離の測定から落下時間を記録しその過程を整理する。 (2) 鉛直投射を判断し表現できる。 (3) 放物運動に関心を持つ。		
	7	11. 力とは 12. 力のつり合い 13. 力の合成と分解 14. 作用・反作用の法則 15. 慣性の法則	(1) 力がはたらくときの物体に及ぼす影響について関心を持ち、物体にはたらく力を判断し的確に表現する。 (2) 物体が異なる方向に複数の力を受けるとき、その力のはたらきについて意欲的に探究しようとする。 (3) 力の合成・分解、つりあいを表現する。 (4) 作用・反作用とつりあう2力との違いを判断し理解する。 (5) 慣性や慣性の法則に関心を持つ。		
	9	16. 力と質量と加速度の関係 17. 運動の法則 18. 摩擦力 19. 抵抗力と浮力	(1) 力、質量、加速度の関係より、運動方程式を表現できる。 (2) 運動方程式に関心を持ち、その利用法を意欲的に習得しようとする。 (3) 物体にはたらくすべての力を図示し、運動方程式を判断できる。 (4) 探究活動を通じて、力と運動に関する法則性を記録・整理する。		
2 学期	9	3章 仕事とエネルギー 20. 仕事 21. 仕事の原理と仕事率 22. 運動エネルギー 23. 重力による位置エネルギー 24. 弾性力による位置エネルギー	(1) 物体のもつ運動エネルギーと物体にする仕事との関係を判断し表現する。 (2) 運動エネルギー、位置エネルギーを理解する。	関心・意欲・態度：授業態度、発問、ノート・ワーク提出 思考・判断・表現：発問評価、定期考査 技能：実験態度、レポート 知識・理解：小テスト、定期考査	28
	10	25. 力学的エネルギーの保存 26. いろいろな運動でみる力学的エネルギー	(1) 重力や弾性力だけが仕事をする場合、力学的エネルギーが保存されることを理解する。 (2) 摩擦力などの力がした仕事の量だけ力学的エネルギーが変化することを理解する。		
	11	2編 さざまな物理現象とエネルギー 3章 電気 15. 動かない電気、動く電気 16. 電流と電気抵抗 17. 直列接続と並列接続 18. 電力と電力量	(1) 電流と電圧、抵抗の関係に関心を持つようとする。 (2) 抵抗に電流が流れるときの電圧と電流の関係を表現する。 (3) オームの法則、抵抗率など、抵抗の性質の基本的な内容を理解する。 (4) 抵抗の接続による合成抵抗を表現し、電圧計、電流計の接続について理解する。 (5) ジュール熱、電力、電力量の関係をオームの法則と関連して理解する。		

	12	<p>19. 電流がつくる磁場 20. 発電機のしくみ 21. 直流と交流 22. 電磁波</p> <p>4章 エネルギー 23. エネルギーの変換と保存 24. エネルギーの利用 25. 放射線の利用 26. 原子力の利用</p>	<p>(1) 日常生活には、電気が関わっていることを意欲的に探究し、モーターや発電機を通じて電流と磁場の関係に関心を持つとする。 (2) モーターや発電機のしくみを学習し、電流と磁場の関係を判断する。 (3) 直流電流と交流電流の波形をオシロスコープを用いて観察する。</p> <p>(1) 電気エネルギーを得るために利用している自然界のエネルギー源について関心を持つ。 (2) 放射能と放射線の意味、放射線量の単位について表現する。</p>		
3 学 期	1	<p>2章 6. いろいろな波 7. 波の伝わり方 8. 波を表す 9. 波の重ね合わせ 10. 定常波 11. 波の反射</p>	<p>(1) 身のまわりのさまざまな波について興味や関心を持つとする。 (2) 波の重ねあわせを表現できる。 (3) 固定端、自由端のそれぞれにおける波の反射を判断できる。 (4) 横波と縦波が伝わるようすを観察し、波の伝わり方とそれぞれの波を表現する。 (5) 定常波、波の反射などの現象を理解する。</p>	<p>関心・意欲・態度：授業態度、発問、ノート・ワーク提出 思考・判断・表現：発問評価、定期考査 技能：実験態度、レポート 知識・理解：小テスト、定期考査</p>	18
	2	<p>12. 音の伝わり方 13. 振動する弦 14. 振動する気柱</p>	<p>(1) ギターやトランペットなど、音の伝わるようすや音の性質について意欲的に探究し、音が波であることを判断する。 (2) うなりの発生するしくみを観察し、うなりの現象を理解する。 (3) 弦の振動や気柱の共鳴を判断し、音が強めあう振動数や、弦、気柱の長さなどを表現し理解する。</p>		
	3	<p>1章熱 1. 熱と温度 2. 物質の三態 3. 熱の移動と保存 4. 熱と仕事 5. 熱効率と不可逆変化</p>	<p>(1) 身の回りにおける温度と熱について意欲的に探究する。 (2) セルシウス温度と絶対温度を表現する。 (3) 熱の移動について判断し、外部と熱のやり取りがないとき、熱量が保存されることを理解する。 (4) 仕事によって、運動エネルギーは熱に変換されることを表現する。 (5) 熱効率を表現し、可逆変化と不可逆変化それぞれの現象を理解する。</p>		

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科 名	理科	科 目 名	化学 必修選択	単 位 数	4	担当者名
教科書	『実教出版 新版 化学』新訂版						
副教材	『実教出版 サイエンスビュー 化学総合資料』 『第一学習社 セミナー化学基礎+化学』						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数	
1 学期	4	有機化合物 脂肪族炭化水素 飽和炭化水素 不飽和炭化水素 酸素を含む脂肪族炭化水素	アルカン、アルキン、アルケン ¹ の構造や一般式、性質、反応を知るとともに、異性体の存在を理解する。 酸素を含む脂肪族炭化水素の性質、反応を理解する。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 観察・実験の技能 知識・理解	48	
	5	有機化合物の特徴と構造 元素分析 芳香族化合物 芳香族炭化水素	有機化合物の化学式を決めるための一連の手順を理解する。 ベンゼン環を基本骨格とする芳香族炭化水素は、脂肪族炭化水素とは異なる性質をもつことを理解する。	ノート 定期考査 実験レポートなど		
	6	酸素を含む芳香族化合物 窒素を含む芳香族化合物 混合物の分離	フェノール類、芳香族カルボン酸の性質、反応について理解する。 アニリンの製法、性質、反応を学び、また、アニリンからアゾ染料が合成されることを理解する。 有機化合物の混合溶液から、各化合物を分離する方法を理解する。			
	7	高分子化学 天然高分子化学の分類と特徴 合成高分子化学 糖類 タンパク質 核酸	高分子化合物の分類と特徴、そのでき方について理解する。 糖類について、その代表的な物質の構造、性質、存在例などを理解する。 タンパク質について、その代表的な物質の構造、性質、存在例などを理解する。 核酸について、その構造を理解する。また、DNAとRNAの生体内での役割を理解する。			
	9	無機物質 非金属元素 周期表と元素の性質 水素と希ガス ハロゲン(17族)とその化合物 酸素・硫黄(16族)とその化合物 窒素・リン(15族)とその化合物 炭素・ケイ素(14族)とその化合物	周期表における各元素の位置を確認する。 水素の製法と性質について理解する。 貴ガスの性質について理解する。 ハロゲンの単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。 酸素・硫黄の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。 窒素・リンの単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。 炭素・ケイ素の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 観察・実験の技能 知識・理解 ノート 定期考査 実験レポートなど		56
	10	金属元素 アルカリ金属とその化合物	アルカリ金属の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。			

2 学 期	11	アルカリ土類金属とその化合物	アルカリ土類金属の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。				
		1,2族以外の典型元素とその化合物	1,2族以外の典型元素の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。				
		遷移元素とその化合物	遷移元素の単体と化合物について、その製法、性質、反応を理解する。				
		金属イオンの分離と確認	金属イオンの特有の反応について学び、金属イオンの分離方法を理解する。				
		物質の状態と平衡					
		状態変化					
		物質の構造と融点・沸点	物質の状態とその変化について、分子間にはたらく力と関連付けて理解する。				
		状態間の平衡と熱運動	蒸気圧について学習し、気体の圧力や沸騰が起こるしくみについて理解する。				
		気体の性質					
		ボイル・シャルルの法則	気体の圧力、温度、体積について、ボイル・シャルルの法則を通して理解する。				
		気体の状態方程式	気体の状態方程式を用いて、分子量などの求め方を理解できる。				
		12	12	固体の構造			
結晶の構造	結晶の構造とその種類について理解する。						
アモルファス	結晶とアモルファスの違いについて理解する。						
溶液							
溶液	溶解のしくみについて確認する。						
溶解度	物質が溶解する量には限界があり、それを溶解度とよぶことを理解する。						
希薄溶液の性質	溶液の性質には、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧があることを理解する。						
コロイド溶液	コロイド溶液と真の溶液の違いを理解する。また、実験などを通して、コロイド溶液の性質を理解する。						
3 学 期	1			物質の変化と平衡		関心・意欲・態度	36
				化学反応と熱・エネルギー		思考・判断・表現	
				エネルギーの変換と保存	化学反応において、反応の前後で物質がもつエネルギーの差が様々なエネルギーとして放出されることを理解する。	観察・実験の技能	
				化学反応と熱エネルギー	熱化学方程式を書けるようにする。また、ヘスの法則を理解する。	知識・理解	
		化学反応と光エネルギー	化学反応において、光が関与する反応について理解する。				
		2	電池と電気分解		ノート		
			電池	電池、電気分解のしくみについて理解する。	定期考査		
			電気分解		実験レポートなど		
			反応の速さとしくみ				
			反応の速さ	化学反応には、反応速度を定量的に扱い、速い反応と遅い反応があることを理解する。			
			反応速度を変える条件	反応速度に影響する条件について理解する。			
			反応のしくみ	反応のしくみについて理解する。			
3	化学平衡						
	可逆反応と化学平衡		可逆反応と不可逆反応があることを理解する。				
	化学平衡の移動		化学平衡が移動する条件とそのしくみについて理解する。				
	電離平衡		電離平衡について学び、pHや塩の加水分解などのしくみを理解する。				

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	理科	科目名	生物 必修選択	単位数	4	担当者名
教科書	スタンダード生物(東京書籍)						
副教材	ニューステージ生物図表(浜島書店) Let,s Try Note 生物 Vol.1(東京書籍) Let,s Try Note 生物 Vol.2(東京書籍)						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	1 生命現象と物質 (2) 生命現象を支えるタンパク質	<ul style="list-style-type: none"> ・自然免疫にはたらくタンパク質について理解する。 ・適応免疫ではたらくタンパク質について理解する。 ・自己と非自己を認識するMHCタンパク質について理解し、アレルギーや骨髄移植、臓器移植に影響を与えることを理解する。 ・形質細胞が分泌する免疫グロブリンについてその働きを説明できる。 ・タンパク質の基本構造について理解する。 ・酵素タンパク質の性質を理解する。 ・輸送や情報伝達にかかわるタンパク質について理解する。 ・細胞の構造について理解し、それぞれの細胞内にある細胞小器官の構造とはたらきを理解する。 ・生体内の代謝には同化と異化があり、代謝にはエネルギーの出入りがともなうことを理解する。 ・呼吸は生命活動に必要なATPを生成する反応であることを理解し、呼吸の過程の概要を説明できる。 	ノート プリント 小テスト 授業の取り組み 定期考査	48
	5	中間考査			
	6	(1) 生体物質と細胞			
	7	期末考査 (3) 代謝とエネルギー			
2 学期	9	(3) 代謝とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・発酵と解糖について、その流れを知る。 ・光合成は光エネルギーを利用して炭酸同化を行うことを理解し、過程の概要を説明できる。 ・細菌も光合成や化学合成を行っていることを知り、その他、細菌による窒素同化などの合成過程が行われていることを理解する。 ・DNAの構造と複製方法を理解する。 ・遺伝子の発現の流れを理解し、セントラルドグマについて説明できる。 ・遺伝子の発現は調節されていることを理解する。 ・バイオテクノロジーの基本的な方法を理解する。 ・PCR法の仕組みを説明できる。 ・バイオテクノロジーの課題を知る。 	ノート プリント 小テスト 授業の取り組み 定期考査	56
	10	中間考査			
	11	2 遺伝子のはたらき (1) DNAの構造と複製 (2) 遺伝情報の発現 (3) 遺伝子の発現調節			
	12	期末考査 (4) バイオテクノロジー			
3 学期	1	3 生殖と発生 (1) 多様な個体が生じる有性生殖	<ul style="list-style-type: none"> ・有性生殖の有用性を理解し、減数分裂の仕組みを知る。 ・染色体と遺伝子の関係を理解し、減数分裂により多様性が生じることが分かる。 ・受精の過程を理解する。 ・ウニやカエルの発生を理解し、発生の基本的な仕組みを知る。 ・動物の発生において、体軸形成や肺葉分化の仕組みを理解する。 ・誘導の連鎖により器官形成が行われていることを理解する。 ・ホメオティック遺伝子の存在とそのはたらきを理解する。 ・被子植物の生殖と発生の基本を理解する 	ノート プリント 小テスト 授業の取り組み 定期考査	36
	2	(2) 動物の発生 (3) 動物の発生のしくみ			
	3	学年末考査 (4) 植物の発生			

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年男子	教科 名	保健体育	科 目 名	必履修 体育	単 位 数	3	担当者名
教科書	現代高等保険体育 改訂版						
副教材							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数	
1 学期	4	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができるようにする。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度	36	
	5	陸上競技(競走・跳躍・投てき)	各種目特有の技能を身につける。	【知識・技能】 技能テスト		
		球技(テニス)	基本的な技術を身につける。	各種計測 練習や試合での成果		
	6	陸上競技(競走・跳躍・投てき)	記録の向上を図る。	学習ノート		【思考・判断・表現】 練習や試合での成果
		球技(テニス)	攻防を展開できるようにする。	学習ノート		
7	水泳(背泳ぎ・バタフライ)	基本的な技術を身につける。	観察	以上の3つの観点を総合的に判断する。		
2 学期	9	水泳(背泳ぎ・バタフライ)	記録の向上を図る。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度	42	
		球技(ハンドボール)	基礎的な技術を習得する。			【知識・技能】 技能テスト
		球技(サッカー)	投げ技を習得する。			
		武道(柔道)	集団的技能を習得する。			学習ノート
	10	球技(ハンドボール)	連絡技・変化技を習得する。	【思考・判断・表現】 練習や試合での成果		
		球技(サッカー)	試合を展開できるようにする。			学習ノート
	11	武道(柔道)	攻防を展開できるようにする。	観察		以上の3つの観点を総合的に判断する。
12	陸上競技(長距離走)	基本的な技術を身につける。				
3 学期	1	陸上競技(長距離走)	記録の向上を図る。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度	27	
	2	陸上競技(長距離走)	記録の向上を図る。	【知識・技能】 技能テスト		
	3	体育理論 (運動・スポーツの学び方)	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。	各種計測 練習や試合での成果 学習ノート		【思考・判断・表現】 学習ノート
				観察	以上の3つの観点を総合的に判断する。	

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年女子	教科 名	保健体育	科 目 名	必 履 修	体 育	単 位 数	3	担当者名
教科書	現代高等保険体育 改訂版							
副教材								

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	体づくり運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができるようにする。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度	36
	5	陸上競技(競走・跳躍・投てき)	各種目特有の技能を身につける。	【知識・技能】 技能テスト	
		ダンス	基本的なステップを身につける。	各種計測	
	6	陸上競技(競走・跳躍・投てき)	記録の向上を図る。	練習や試合での成果	
		ダンス	特有の表現や踊りを身につける。	学習ノート	
7	水泳(背泳ぎ・バタフライ)	基本的な技術を身につける。	【思考・判断・表現】 学習ノート 観察		
2 学期	9	水泳(背泳ぎ・バタフライ)	記録の向上を図る。	【主体的に学習に取り組む態度】	42
		球技(バレーボール)	基礎的な技術を習得する。	出席状況	
		球技(サッカー)	基礎的な技術を習得する。	授業への取り組み・参加態度	
		球技(ソフトボール)	基礎的な技術を習得する。	【知識・技能】	
	10	球技(バレーボール)	集団的な技術を習得する。	技能テスト	
		球技(バスケットボール)	集団的な技術を習得する。	各種計測	
	11	球技(サッカー)	試合を展開できるようにする。	練習や試合での成果	
		球技(ソフトボール)	試合を展開できるようにする。	学習ノート	
12	陸上競技(長距離走)	基本的な技術を身につける。	【思考・判断・表現】 学習ノート 観察		
3 学期	1	陸上競技(長距離走)	記録の向上を図る。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度	27
	2	陸上競技(長距離走)	記録の向上を図る。	【知識・技能】 技能テスト	
	3	体育理論 (運動・スポーツの学び方)	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。	各種計測 練習や試合での成果 学習ノート	
				【思考・判断・表現】 学習ノート 観察	
				以上の3つの観点を総合的に判断する。	

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科 科名	保健体育	科 目名	必 履 修 保健	単 位 数	1	担当者名
教科書	現代高等保健体育						
副教材							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	生涯を通じる健康 1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画と人工妊娠中絶 6 加齢と健康	思春期における身体面、心理面、行動面などの変化を理解できるようにする。 受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにする。 健康課題は、年齢や生活習慣などが関わり、加齢とともに、心身の機能や形態が変化することを理解できるようにする。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度 提出物 【知識・技能】 テスト ノート・プリント 【思考・判断・表現】 テスト ノート・プリント 以上の3つの観点を総合的に判断する。	12
	5				
	6				
	7				
2 学期	9	7 高齢者のための社会的取り組み 8 保健制度とその活用 9 医療制度とその活用 10 医薬品と健康 11 さまざまな保健活動や対策 社会生活と健康 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁・土壌汚染と健康 3 健康被害の防止と環境対策 4 環境衛生活動のしくみと働き	高齢社会では、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることを理解できるようにする。 生涯を通じて健康を保持増進するためには、保健・医療制度を適切に活用することが必要であると理解できるようにする。 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し、健康に影響を及ぼすことがあること、それらを防ぐために、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることを理解できるようにする。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度 提出物 【知識・技能】 テスト ノート・プリント 【思考・判断・表現】 テスト ノート・プリント 以上の3つの観点を総合的に判断する。	14
	10				
	11				
	12				
3 学期	1	5 食品衛生活動のしくみとはたらき 6 食品と環境の保健と私たち 7 働くことと健康 8 労働災害と健康 9 健康的な職業生活	食品の安全性を確保することは、健康の増進にとって重要であり、食品の製造・加工・保存・流通などの各段階において、適切な管理が必要であることを理解できるようにする。 働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解できるようにする。	【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況 授業への取り組み・参加態度 提出物 【知識・技能】 テスト ノート・プリント 【思考・判断・表現】 テスト ノート・プリント 以上の3つの観点を総合的に判断する。	9
	2				
	3				

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科 科名	芸術	科 目名	音楽Ⅱ 必修選択	単 位 数	2	担当者名
教科書	MOUSA2						
副教材	ジュニアクラスの楽典問題集 オリジナルテキスト(三線)						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4 5 6 7	1. 鑑賞 バレエやオペラに親しむ 2. 楽典 3. 混声合唱 4. ボディーパーカッション プレリュードⅠ・Ⅱ	1. バレエやオペラの表現の特徴 や文化的・歴史的背景について 理解を深める。 2. 1年の復習・音程 3. 曲想や歌詞が表す情景や心情 とのかかわりを理解し合唱する。 4. 変拍子を含むリズムの読譜を 理解し音色や奏法を工夫しながら 少人数グループで活動し発表す る。	授業態度、取り組み 出席状況 学習プリント等提出物 実技テスト (筆記小テスト)	22
2 学期	9 10 11 12	1 鑑賞 オーケストラの作品 ヴィヴァルディ「冬」 フランク 「ヴァイオリンソナタイ長調」他 2. 三線の弾き歌い 3. ミュージックベル 4. 楽典	1 西洋音楽史の学習を絡めなが らそれぞれの音楽の特徴につい て理解を深める。 2. 三線の音色や奏法の特徴 表現上の効果との関わりを理解し 表現を工夫して弾き歌いする。 3. ミュージックベルの音色や奏法 の特徴を生かしグループで選んだ 楽曲を仕上げる。 4. 音階や和音	授業態度、取り組み 出席状況 学習プリント等提出物 実技テスト (筆記小テスト)	28
3 学期	1 2 3	1. 鑑賞 ベートーヴェンの生涯と作品を たどる。 2. グループアンサンブル 3. 混声合唱	1. ベートーヴェンの生涯や時代 背景について学習しながらそれぞ れの作品の特徴を聴き取る。 2. 各パートの役割や全体の響き を考えながら表現を工夫してアン サンブルに親しむ。 (1グループ4～5人程度、自由曲) 3. 音楽を形づくっている要素を考 えながら、表現を工夫して合唱に 取り組む。	授業態度、取り組み 出席状況 学習プリント等提出物 実技テスト (筆記小テスト)	20

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	芸術	科目名	美術Ⅱ 必修選択	単位数	2	担当者名
教科書	高校生の美術Ⅱ 日本文教出版						
副教材							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1学期	4 5 6 7	段ボール箱を描く 鉛筆デッサン 時間と空間 アニメーション 背景画	透視図法を理解する。空間表現の豊かさを学ぶ。物の質感表現を学ぶ。 自分らしい主題、描写ができる。 遠近法を効果的に使い構図に工夫が出来る。	鉛筆の濃淡を利用し、物体をとりまく空間が表現できているか。 物の質感を捉え表現できているか。形と陰影が捉えられているか。	22
2学期	9 10 11 12	デザイン 平面構成 アルミホイル彫塑	物や光の性質を観察し、工夫して構成、展開させる。 立体として多面的に形態を捉える。彫刻作品の構造を理解し作品を制作する。	色彩の光の性質を理解し構成、展開させて彩色できているか。 立体としての空間把握でき、表現の域まで達しているか。 道具をうまく使えているか。	28
3学期	1 2 3	篆刻 名前をデザインして彫る。	漢字の成り立ちを理解し、意匠としての篆刻の理解を深める。 多くの作例から独自のデザイン、レイアウトを考えてみる。	芸術と社会との関係性や文化について理解が深まったか。 忍耐強く完成まで制作に集中できたか。	20

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	芸術	科目名	書道Ⅱ	単位数	2	担当者名
	教科書	東京書籍 書道Ⅱ					
	副教材	なし					

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1学期	4月	ガイダンス及び書道史における漢字の変遷と筆使いを学ぶ。	文字の成り立ちから日本では漢字から平仮名の成立まで学習する。	プリント	2
		書道Ⅰで学習した蘭亭序、牛橛造像記、争坐文稿を活かした創作を行う。	古典を使いながら漢字仮名交じりの字を書く。	作品提出	4
	5月	粘葉本和漢朗詠集と関戸本古今和歌集に基づく表現を学ぶ。	漢字、仮名、変体仮名の基礎を身に付ける。	作品提出	2
		蘭亭序と高野切第一種、第三種を鑑賞する。	漢字と仮名の古典を調和させて漢字仮名交じりの書を書く。	作品提出	2
	5月	張猛龍碑、薦季直表、餐宝子碑、始平公造像記を鑑賞し臨書する。	個性的で多様な楷書の表現を臨書する。	作品提出	4
	6月	集王聖教序、李白尺牘稿、温泉名、欄頂歴名を鑑賞し臨書する。	行書的美について用筆、運筆、字形の取り方に注意し臨書する。	作品提出	4
	7月	書譜、十七帖、自叙帖、忽恵帖を鑑賞し臨書する。	草書的美について用筆、運筆、字形の取り方に注意し臨書する。	作品提出	4
2学期	9月	礼器碑、張遷碑、開通褒斜道刻石、敦煌漢簡を鑑賞し臨書する。	隸書的美について用筆、運筆、字形の取り方に注意し臨書する。	作品提出	6
	10月	石鼓文、甲骨文、小臣觶犧尊、臨石鼓文を鑑賞し臨書する。	篆書的美について用筆、運筆、字形の取り方に注意し臨書する。	作品提出	8
	11月	篆刻の歴史、用法、押印を学ぶ。	篆刻の創作の手順に従い、印を完成させて押印する。	作品提出	6
	11・12月	粘葉本和漢朗詠集、関戸本古今和歌集、十五番歌合、本願寺三十六人家集、三色紙を鑑賞し臨書する。	仮名的美について用筆、運筆、字形の取り方に注意し臨書する。	作品提出	8
3学期	1月	行書き、散らし書きの美について学習する。	行書きと散らし書きの基本的技法を理解しりんしょする。	作品提出	6
	2月	創作の作品を制作する。	創作の手順に従い仮名の書で学んだ古典の特徴や技法を活かして創作する。	作品提出	4
		名筆・古典に学ぶ漢字と仮名の調和を学ぶ。	漢字、仮名交じりで書かれた名筆・古典を鑑賞し漢字と仮名の調和について理解する。	作品提出	2
	3月	仮名に学ぶ漢字と仮名の調和を学ぶ。	未習の古典の特徴を確認し調和する漢字を考える。	プリント	4
		創作の作品を制作する。	創作の手順に従い、漢字仮名交じりの書で学んだ技法を活かして創作する。	作品提出	4

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	英語	科目名	学校必履修 コミュニケーション英語II	単位数	3	担当者名
教科書	Grove English Communication II						
副教材	Grove English Communication II WORKBOOK / ALL EARS Standard / WORDBOX Essential						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	Lesson1 Mt. Fuji: The Pride of Japan	日本が世界に誇る富士山について理解を深め、世界の中の日本、日本文化について理解を深める。 基本5文型の習得	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度 外国語表現の能力	36
	5	Lesson2 Yes, I Do Climb	ロッククライマー白石阿島さんのスピーチを通して挑戦することの意味を理解し、自身の可能性について考える。完了時制の習得	外国語理解の能力	
	6	Lesson3 A Penguin Called Happy Feet	傷ついたペンギンを救護する人々の姿から生命を尊ぶ態度を養う。 助動詞および受動態の習得	言語や文化についての 知識・理解 観察・ワークシート・小テスト	
2 学期	9	Lesson4 Warka Water	エチオピアの水不足を解決する策として考案されたwarka water towerに関する文を通して主体的に社会の発展に寄与する態度を養う。受動態・未来進行形・第4文型の習得	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度 外国語表現の能力	42
	10	Lesson5 A Hidden Story of Tomatoes	トマトの起源と食べ物として親しまれるようになった課程を知ることを通して真理を求める態度を養う。 様々な受動態の習得	外国語理解の能力	
	11	Lesson6 Iceland Lesson7 Which Jam Would You Like?	厳しい自然環境の中で自然と調和して生活する人々の姿を通して自国と異なる生活様式を送る人々を尊重する態度を養う。 不定詞・動名詞の習得 ジャムの購入に関して行われた実験を通して、人が選択する際の考え方を知る。 関係代名詞・分詞の習得	言語や文化についての 知識・理解 観察・ワークシート・小テスト	
3 学期	1	Lesson8 Paper Building	災害現場で紙による建築で支援をする建築家の姿を通して社会の発展に寄与する態度を養う。 不定詞・分詞構文・非制限用法の関係代名詞の習得	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度 外国語表現の能力	27
	2	Lesson9 Lunch Delivery in Mumbai	インドで人気の弁当配達について知り他国の文化を受け入れる態度を養う。 関係副詞・仮定法の習得	外国語理解の能力	
		Lesson10 Saving Wildlife from Global Warming	地球温暖化がもたらす影響について知り環境保全に寄与する態度を養う。 様々な不定詞の習得	言語や文化についての 知識・理解 観察・ワークシート・小	

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	英語	科目名	学校必履修 英語表現Ⅱ	単位数	2	担当者名
教科書	Vision Quest English Expression II Hope						
副教材	Vision Quest English Expression II Hope WORKBOOK						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	Vision Quest I Lesson9 I'm for school uniforms.	<ul style="list-style-type: none"> ・写真に写っている人物について分詞を用いて表現できる。 ・日本の高校生の特徴について分詞構文を用いて表現できる。 	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度 外国語表現の能力	24
	5	Vision Quest I Lesson10 How do you spend Christmas?	<ul style="list-style-type: none"> ・知っている人について関係詞を用いて表現できる。 ・自分が必要としているものについて関係詞を用いて表現できる。 	外国語理解の能力 言語や文化についての 知識・理解	
	6	Vision Quest I Lesson11 Did you watch the debate on TV last night?	<ul style="list-style-type: none"> ・2つのうち自分が好きな方を比較を用いて表現できる。 	観察・ワークシート・小 テスト	
	6・7	Vision Quest I Lesson12 I wish my parents were more understanding.	<ul style="list-style-type: none"> ・事実と違うことを述べたり、仮定の話をすることができる。 ・自分自身や家族の望むことについて述べるができる。 		
2 学期	9	Lesson 1 主語を決める	主語の決定／見えない主語の発見／主語のitについて習得し、英語の文の骨格となる知識を得る。	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度 外国語表現の能力	28
	9・10	Lesson 2 動詞を決める①	自動詞と他動詞 / 基本5文型について学び、動詞の英文中における役割を把握する。	外国語理解の能力 言語や文化についての 知識・理解	
	10・11	Lesson 3 動詞を決める②	使役動詞と知覚動詞 / 動詞+O+to doの形をとる動詞についての知識を得る。	観察・ワークシート・小 テスト	
	11・12	Lesson 4 動詞の形を決める①	現在形、現在進行形、will、未来進行形、現在完了形、現在完了進行形などについて学習し、様々な時制の形について知る。		
3 学期	1	Lesson 5 動詞の形を決める②	義務・必要を表す助動詞、推量を表す助動詞と仮定法について学習し、使えるようにする。	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度 外国語表現の能力 外国語理解の能力	18
	2・3	Lesson 6 修飾語を加える①	名詞を前から修飾する語句、後ろから修飾する語句、関係詞の修飾について学習し、使えるようにする。	言語や文化についての 知識・理解 観察・ワークシート・小 テスト	

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	家庭	科 目 名	必履修	家庭基礎	単 位 数	2	担当者名
教科書	新図説 家庭基礎(実教出版)							
副教材	生活学Navi(実教出版) 新図説 家庭基礎 学習ノート(実教出版)							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	第1編 人と関わって生きる 第1章 自分らしい生き方と家族	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージごとの発達課題やライフイベントについて理解する。 ・今の自分を見つめる。 ・青年期の生き方について考える。 ・労働について考える。 ・共に働くことを考える。 ・さまざまな結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。 ・家族に関する法律について学習し、理解する。 	授業への取り組み 提出物	24
	5	第2章 子どもとかわる	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものからだと心の発達について理解する。 ・子どもの食生活・衣生活について理解を深める。 ・子どもの成長と遊びについて理解を深める。 		
	6	第3章 高齢者と関わる	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の子どもを取り巻く環境の問題について理解する。 ・高齢者とかわるることの意義、高齢社会の現状と課題について理解する。 		
	7	第4章 社会と関わる	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人の支えあい人が幸せに生きていくための仕組みについて考える。 		
2 学期	9 ・ 10	第2編 生活をつくる 第1章 食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康とのかわりや、人の一生における食事の役割について理解する。 ・栄養素の種類と働き、からだでの働きについての基礎的知識を習得する。 ・調理の流れ、調理操作を学び、調理技術を習得する。 ・食品の適切な選択・保存方法について理解する。 	授業への取り組み 提出物	28
	11 ・ 12	第2章 衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の衛生と安全について理解する。 ・衣服の起源や歴史、ライフステージごとの衣服について学ぶ。 ・衣服の機能・素材・繊維にはどのような特徴があるのかを学ぶ。 ・衣服の購入、家庭での洗濯方法・保管の方法などについて学ぶ。 ・エプロン製作をつうじて、ボタンつけ・まつり縫い等基本的な裁縫の技術を学ぶ。 		
	1	第3章 住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の機能に応じた住空間の構成を理解し、ライフステージやライフスタイルに応じた住生活の計画が出来るようにする。また、平面図の読み取りができるようにする。 		
3 学期	1 ・ 2 ・ 3	第3編 消費者として自立する 第1章 消費行動を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・契約、多様な販売方法問題商法について理解する。 ・様々な支払方法の仕組みや計画的にお金を使うことの大切さを学ぶ。 ・地球温暖化の影響と対策を知り、自分がどのように行動すればよいか考える。 	授業への取り組み 提出物	18
		第2章 経済的に自立する	<ul style="list-style-type: none"> ・短期間の収入と支出の特徴を学び、家計管理の重要性について考える。 ・長期的な経済計画の重要性と貯蓄や負債について学ぶ。 		

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	国語	科目名	作文・小論文 必修選択	単位数	2	担当者名
教科書	『文章トレーニングノート』第一学習社						
副教材	『改訂版 楽しく書ける作文・小論文 基本編「六〇〇字で書こう」』桐原書店						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	正しい標記 原稿用紙の使い方 言葉の誤用をなくす 正しい文章を書く 適切な話題の選び方 推敲の仕方 視野を広げる	正しい文字表記を身につける 文法的な誤りのない文章を書く	提出課題の内容、授業中の発言により、それぞれの理解度、到達度を測り、総合的に評価する。	24
	5		根拠となる裏付けや主張を身につける。		
	6				
	7				
2 学期	9	言葉の誤用をなくす 物事を正しく言い表す 文章を適切に要約する テーマに沿って物事を良く考える 視野を広げる	文章を書くに当たって適切な話題を選べるようにする。 正しい文字表記を身につける 文法的な誤りのない文章を書く	提出課題の内容、授業中の発言により、それぞれの理解度、到達度を測り、総合的に評価する。	28
	10		文章を適切に推敲できるようにする		
	11		根拠となる裏付けや主張を身につける。		
12					
3 学期	1	実践	文章を書くに当たって適切な話題を選べるようにする。 正しい文字表記を身につける 文法的な誤りのない文章を書く	提出課題の内容、授業中の発言により、それぞれの理解度、到達度を測り、総合的に評価する。	18
	2		文章を適切に推敲できるようにする		
	3		根拠となる裏付けや主張を身につける。		

令和3年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	総合的な探究の時間	科目名	必修	総合的な探究の時間	単位数	1	担当者名
教科書	自校作成教材							
副教材	自校作成教材							

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	全体学習 学習「多面的に見る」	「探究について」講演 プリント学習	プリント	12
	5	学習「多角的に見る」	プリント学習		
	6	学習「つなげて見る」 全体学習	プリント学習 講演「パネルディスカッション」 アンケート		
	7	探究活動 探究活動 1学期のまとめ	班別学習	調査をもとに自分の考えを 作り上げることができたか。 (思考力・判断力・表現力)	
2 学期	9	探究活動	調べ学習	班別学習	14
	10	フィールドワーク事前指導			
	11	探究活動	調べ学習		
	12	2学期の振り返り 探究活動 学習「分析する」 フィールドワーク		自分の考えと他人の考えを 尊重しながら班として一つの 意見を作ることができたか。 (思考力・判断力・表現力・ 主体性等)	
3 学期	1	調査の分析 修学旅行事前指導	1年間の探究のまとめ	班別学習	9
	2	修学旅行事前指導			
	3	調査の分析	1年間の探究のまとめ	班別学習	